

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和 6 年度 第 1 回川西市参画と協働のまちづくり推進会議		
事 務 局 (担当課)		参画協働課		
開 催 日 時		令和 6 年 9 月 10 日(火) 午後 7 時から午後 8 時半		
開 催 場 所		川西市役所 4 階 庁議室		
出 席 者	委 員	岩崎恭典、西原千佳子、松原利明、久保田啓子、 福島美香子、川瀬美由紀、後藤由紀江、保遥、 橋本武夫、渡辺千尋		
	そ の 他	市民活動センター(男女共同参画センター):指定管理者 三井ハルコスーパーバイザー、吉尾豊マネージャー		
	事 務 局	井上公室長、西川副公室長、 岸本参画協働課長、長見同課主査		
傍聴の可否		可	傍聴者数	1 人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由				
会 議 次 第		1 開 会 2 委嘱状交付 3 議 事 (1) 会長及び副会長の選出について (2) 諮 問 市長挨拶 (3) 委員自己紹介 (4) 会議公開運用等について (5) 今後の進め方等について (6) その他 4 閉 会		

19 : 00～

1 開会

○事務局

事務局進行

配付資料の確認、事務局職員の紹介。

2 委嘱状交付

時間省略のため、机上配付にて委嘱状を交付。

任期は、令和6年9月10日から令和8年3月31日まで。

3 議事

(1) 会長及び副会長の選出について

参画と協働のまちづくり推進条例施行規則第6条に基づき、会長及び副会長を選出。
事務局から提案することの了承を得て、「会長に岩崎 恭典委員、副会長に田中 晃代委員、藤本 真里委員」とすることを提案し、全委員の承認を得た。
岩崎会長より挨拶。

(2) 諮問、市長挨拶

コミュニティ組織が地域課題の解決に取り組むにあたり、より効果的な活動となる交付金のあり方について、越田市長より当推進会議に対して諮問。諮問書を岩崎会長へ手交。

○岩崎会長

田中先生、藤本先生とは3人でずっと関わってきており、今回諮問いただいた内容について今後審議をしていく訳ですが、私自身が制度の最初の時に関わった内容でもありますので、市の状況に応じて見直していく機会が必要になるだろうとは感じていました。

ただ担い手の皆さんが動きやすいようにしていかなければならないが、生産人口の減少や、定年延長等の雇用形態の変化などで、企業に担い手が持っていられる状況にあり、

地域から担い手がなくなってしまったのも事実で、そういう状況をどうしていくかというのが今一番大きな問題の1つであると思う。そのためには、有償ボランティアというものは必要だと思うが、一方で地域活動は無償が原則だという声もある。

そういう状況を応援するための、一番使いやすい財政的な支援である交付金という仕組みを川西市は持っているわけですので、そのあり方を含め皆さんのご意見をいただく会議としていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いします。

○越田市長

今回の推進会議では、一括交付金、コミュニティ組織というところがテーマとなるので、その部分での課題認識について話をさせていただきたい。

川西市の良さは何かと聞かれると、やはり市民の力は全国的に見ても素晴らしい力を持っていると思います。その力の1つが自治会、コミュニティ組織という地域活動で、もう1つがNPOの活動、そこに加えて地域やNPOでもないけれど、様々な形で、色んなところで活動している方たちがたくさんいらっしゃいます。

もちろん担い手が不足しているという感覚は持っていますが、一方で、私が市長になった6年前に比べると、こんな人が川西にはいたのだな、というような方たちがどんどん出てきているということも実感しています。

例えば駅前のペデストリアンデッキでは、毎週のように何かイベントがあって誰かが歌を歌っていたりしますが、6年前には活動してなかったのではないかと思います、新しく舞台があることで、市民の新しいプレーヤーがどんどん生まれてきた。

ただ残念ながら、自分たちが走っている間はいいけれど、自分たちがしんどくなった時に、後ろを向いたら誰がいるのか、この活動は自分たちの代で終わってしまうのではないかということが、今あらゆる活動の全てに共通する悩みではないかというのが、私の課題意識としてございます。

そういった中で、地域活動の一番身近な単位は自治会ではありますが、川西市は概ね小学校区単位の14地域でコミュニティ活動が行われていて、そこに対して自由なお金として一括交付金を交付して、地域福祉や環境、防犯など地域組織として活動していた

だいていますので、そこを基礎として活動をしていくことが、川西市民の将来の幸せに繋がるのだらうと思い、取組みを進めてきました。

私は参画と協働というのは、話し合っで一緒にやるということだと思っでいますが、なぜ市民の皆さんと話し合っで、一緒にやったほうが良いのかと云うと、そのほうが良い答えが出るからだと私は思っでいます。

例えば、木を切っでくださいという要望がありますが、切らないと落ち葉は行政で拾っでくれるのかと云われ、それができないならば切っでくれっで云われますが、切ったら、日陰がなくなっでしまったのでどうしてくれるのかと云われます。

私たちとしては、どちらも考えられますので皆さん決めてください、ただ、決められないならば、行政が決めるのですが、それが本当に市民の皆さんに喜ばれる答えになるかが分からない。

より良い答えをつくっでいくためには、市民の皆さんの参画が必要だと思っでいます。しっかりと皆さんが話し合う場所に参加をする機会をつくり、その上でいろんな意見はあると思っでいますが、決まったものをみんなで1つずつ具体的に形にする作業をして、自治の土台をつくらない限り、いくら制度を作っでも駄目なのではないかと感っでています。

今回、コミュニティ組織の活性化というのは、こうすればお祭りが元気になるのではないか、こうすればもっで防犯活動できるのではないかというのも大切ですが、その前提として、話し合う自治がしっかりと機能する、これが私はコミュニティ組織として必要なことだと思っでいます。

実際に活動に参加している方からすると意見をまとめる側の難しさもあるという意見もあれば、普段参加されてない方からすると、声をかけくれたら参加するのにと云う意見もあるかもしれません。このような形で、それぞれの立場からご意見をいただき、1つの良い形が出来ればと思っでいます。

最後に全ての審議会で私が申し上げているのは、こんなことを言っでしまったら政治的に市長は困るのではないかと考えてしまうケースがあるそうですが、そういう考えは一切不要だと思っでいます。

最後は私たちが行政側として、議会とかいろんなところで話し合いながら進めていき

いと思いますので、皆さんの中では、こんなことができれば、きっと良い川西になるに違いないという、皆さんが一番良いなと思うものを最後の段階で私にお答えとして出していただければ嬉しいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

※ここから岩崎会長が進行。

(3) 委員自己紹介

各委員より自己紹介。

(4) 会議公開運用等について

○事務局

「川西市参画と協働のまちづくり推進条例〈資料2〉」、「川西市参画と協働のまちづくり推進条例施行規則〈資料3〉」、「川西市参画と協働のまちづくり推進会議 会議公開運用要綱〈資料4〉」、「川西市参画と協働のまちづくり推進会議の会議公開に係る傍聴要領〈資料5〉」に基づき、会議公開や傍聴などについて説明。

会議録の承認方法については、各委員へ発言箇所等を確認した後、最終承認は会長が行うことで、全委員の承認を得た。

(5) 今後の進め方等について

○事務局

「川西市参画と協働のまちづくり推進会議 審議内容とスケジュール〈資料6〉」に基づき、審議内容とスケジュールについて説明。

また「地域づくり一括交付金について〈資料7〉」、「第3期地域別計画（明峰コミュニティ協議会）〈資料8〉」については審議内容に関連する資料となるため、次回の審議会までに、目を通しておいていただきたい旨を説明。

一括交付金については今回初めて耳にする方もいると思うので、今後の会議進行にあたっては、審議前に説明をしたうえで進行していくことを説明。

○岩崎会長

現状と課題をまずは把握して、よりコミュニティが活動しやすい資金的援助としての交付金はどうあるべきかを深めていくところから始めていきたいと思っている。

それでは、進行を事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

(6) その他

○事務局

事務局より2点ご連絡させていただく。

一点目、次回の推進会議は、11月から12月中旬で開催を予定している。1か月前を目安に改めて日程を連絡させていただく。

二点目、今後の連絡について、基本的には電子メールで行う。会議の資料などお手元で確認いただきたい書類は郵送にてお送りするが、原則は電子メールにて連絡するため、よろしくお願いします。

4 閉 会

○事務局

委員の皆様、ありがとうございました。